

vol.63(10・11月)

しながわ通信

品川区議会議員

松永よしひろ



松永よしひろ事務所

品川区南大井 1-13-16-1101
TEL:080-4956-5145
FAX:03-3768-7550
E-Mail:yarutaisd041015@yahoo.co.jp
ご意見お待ちしております!



品川区議会議員補欠選挙

品川区議会議員補欠選挙が令和4年10月2日に投開票が行われましたので、ご報告いたします。

告示日：2022年09月25日、投票日：2022年10月02日

当	えのした 正人	27,197 票
当	松永 よしひろ	22,193 票
当	せらく 真央	18,800 票
	土田 英夫	13,379 票
	いながき 孝子	13,360 票
	神崎 ふみえ	11,455 票
	柴田 けいや	5,481 票



投票率：35.21%(前回：32.7%)、有権者数：330,516人

前回行われました、品川区議会議員補欠選挙より若干ではありますが、投票率は上がってございました。地域によって、投票率が異なり、また期日前投票や防災無線を活用し、投票の呼びかけ等が行われたのですが、全体的に低い状態でした。

品川区長選挙

品川区長選挙では、新人6人が立候補されました。しかし、獲得した票数が「法定得票数」と呼ばれる当選者になるための最低ラインを超えることができませんでした。

	山本 やすゆき	24,669 票
	村川 ひろかず	8,279 票
	おおにし 光広	7,821 票
	石田 ひでお	26,308 票
	森沢 きょうこ	27,759 票
	西本 たか子	18,559 票



Q：なぜ、区長選挙が再選挙になってしまったのか。

A：品川区長選のような自治体のトップを選ぶ首長選挙の場合は「有効投票総数の4分の1」以上が必要となっており、品川区長選の場合は、11万3395票の4分の1に当たる2万8348.75票が最低ラインでしたが、票の獲得数がトップだった2万7759票で、約600票足りなかったため、再選挙になりました。(公職選挙法95条)

品川区長再選挙(12月4日投開票)

品川区長再選挙は、11月27日告示、12月4日投開票の日程で、行われることとなりました。

ここで、質問を受けましたので回答いたします。

Q：区長選挙が再選挙ということですが、候補者は、どうなるのですか。また、決選投票ではないのですか。

A：品川区長選の再選挙への立候補者につきましては、満25歳以上であれば誰でも立候補することができます。ゼロからのやり直しの選挙になります。

10月2日投開票の選挙に立候補された6名が再び立候補してもいいですし、立候補しないこともできます。また、全く別の方が新たに立候補しても大丈夫です。

また、決選投票につきましては、1952年廃止されており、行われません。

Q：再選挙で、また当選者が出なかった場合は、どうなるのですか。

A：再々選挙になります。それでも獲得票数の最低ラインを超える候補者がいなければ、「再々々選挙」となります。

Q：選挙費用について、教えてください。

A：品川区選挙管理委員会では、10月2日投開票の選挙と同じ規模の約1億8000万円が必要になる予定となっております。

Q：今まで、こうした再選挙はあったのですか。

A：首長選の再選挙は、2017年11月に行われました千葉県市川市長選に続き7例目となり、都内では初めてとなります。

法改正が必要ではないか

過去6回の首長選の再選挙は、いずれも1回だけで決まっておりますが、インターネットを活用した選挙運動の広がりによって票が分散化し、再々選挙の可能性あると考えます。そこで再々選挙が、もし行われることになる場合は、決選投票にするなど、防波堤となる制度が必要だと考えております。



松永よしひろ プロフィール

昭和56年11月27日生れ(40歳) AB型

出身地：福岡県福岡市

学歴：東福岡高等学校・福岡大学理学部応用物理学科・同大学院理学研究科
応用物理学専攻修了

職歴：衆議院議員 松原仁(公設第一秘書)

品川区議会議員(3期)

趣味：囲碁・魚釣り・茶道・ソフトテニス・ソフトボール

役職経験：厚生・建設(副委員長)・文教・区民委員会

行財政改革・オリンピック・パラリンピック特別委員会

青少年問題協議会委員、国際友好協会評議員

大井地区少年野球連盟(顧問)、大井消防団班長(第二分団)

